平成19年（2007年）10月15日発行

きしわだ 議会だより

第130号

発行 岸和田市議会
編集「議会だより」編集委員会
TEL423－9667（直通）

18年度決算 満場一致で認定

防災など市民の安全・安心施策に

一般質問で議論集中

平成19年第3回定例会では、18年度一般会計をはじめ、各特別会計、上水道・下水道・病院事業会計の決算認定議案が提案され、満場一致で認定しました。また、条例の改正や補正予算などの議案を可決しました。

議員からは、意見書2件を提案し、可決しました。

本会議の概要

8月29日～9月13日

今定例会は、8月29日に開会し、まず監査結果の報告など受けた後、18年度各会計決算の認定議案について、12名の委員からなる決算特別委員会を設置し、審査を付託しました。続いて、市有功者の表彰について同意しました。

また、岸和田市都市計画法施行条例の全部改正など20議案が提案され、それぞれ関係する常任委員会に審査を付託しました。

30日～9月3日に開かれた各常任委員会では、付託議案の審査など行いました。

4日には、委員会審査の終わった議案について、各常任委員長から審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決しました。続いて、公平委員会の委員選任について同意しました。

4日～10日に開かれた決算特別委員会では、18年度決算に対し、健全な財政運営を堅持し、効率的・効果的な執行がなされたかなどに主眼を置き、慎重な審査を行いました。

12日の本会議では、決算特別委員長から審査結果の報告を受け、満場一致で認定しました。また、議員からは政府に対し「道路整備の推進及びその財源確保」「割賦販売法の抜本的改正」に関する意見書2件を提案し、可決しました。

12・13日に行われた一般質問（下段と2面に掲載）では、8名の議員が市政各般に対し、理事者の見解をただし、閉会しました。

各会計の決算

特別委員会で審査

決算特別委員会では、9月4日に大綱説明を受け、関係書類の閲覧を経て6日から3日間審査を行いました。

委員長報告（要旨）

本市では、市税収入が、9年度以降初めて増収に転じたものの、依然として厳しい財政状況にある。

こうしたなか、効率的な行政システムの構築に取り組み、JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業や周辺まちづくり事業など都市基盤の整備、桜台保育所の建設、公立幼稚園アフタースクール事業の実施など、市民福祉の向上に寄与していることなどが評価され、認定することに決定した。

なお、これからの市政運営に反映されるよう委員から次のような意見・要望があった。

▽公共施設維持管理費など一元集約化によるコストダウンを。

▽産業の再生を図るため、岸和田ブランドの創出や企業誘致の推進など積極的な施策の展開を。

▽老朽化した公共施設、特に小・中学校の耐震補強の実現を。

▽財政状況の透明性を高めるため、一般会計、特別会計、企業会計の連結決算書を作成し、分かりやすい公表を。

▽事業仕分けを行い、市場化テストの導入を。

▽生活保護は、最低限の生活保障と自立の助長を図るという本来の目的に鑑み、適正な執行を。

▽浪切ホールなどの運営補助金については、経営努力による縮減を。

▽保育所や学校給食の民営化、民間委託を推進しつつ、市民サービスの低下を招かぬ努力を。

▽きしわだ行財政再生プランによる市民の負担増については、低所得者へ十分な配慮と行政の公的責任を後退させる民営化、民間委託の拡大を行わないこと。

▽公立幼稚園、保育所の機能、特質を生かした子育て支援を。

▽市民病院の経営については、民間を活用するなど、より一層の経営改善を。

【決算特別委員】　◎委員長　○副委員長

									◎	村
									○	松
小	小	今	山	岸	鳥	雪	岡	京	清	野
川	寺	口	田	田	居	本	林	西	水	本
和	峰	千代子	幸		宏	清	憲	且	隆	妙
夫	男		夫	厚	次	浩	二	哲	司	子

議会を傍聴しませんか

傍聴される人は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

▼12月6日（木）　本会議
▼12月7日（金）　文教民生常任委員会
▼12月10日（月）　事業常任委員会
▼12月11日（火）　総務常任委員会
▼12月12日（水）　本会議
▼12月13日（木）　本会議

※日程は変更される場合があります。
※いずれも午前10時開会の予定です。

市政に対し8人の議員が一般質問

青色防犯パトロール 認知度アップにひと工夫

その他の質問
○企業のごみ減量化をはじめ環境への配慮推進について

西村　芳徳議員

【問】子ども達を犯罪者や変質者から守る施策の一つである「青色防犯パトロール」の巡回状況と啓発テープの内容について聞きたい。

【答】市内24小学校区を5つのブロックに分け、それぞれを週1回登下校時に巡回している。

巡回中は、青色回転灯を点け「人通りの少ないところや子どもの一人歩きは危険です。特に注意しましょう。子ども達の安全は地域全体で見守りましょう」と注意を促している。

【問】長野県上田市では、「となりのトトロ」の劇中歌「さんぽ」に「知らない人の車には乗らないよ」などの注意を促す歌詞を盛り込んだ替え歌を流すことにより、青色防犯パトロールが子ども達に受け入れられている。

青色防犯パトロールが子ども達や市民にもっと受け入れられるように、音楽やそれにあわせた振り付けを取り入れるなどの工夫について聞きたい。

【答】子ども達が、自ら安全を確保することの大切さを身につけるという点については、効果的であると考える。

今後、各学校での安全教育の指導方法に生かしたい。

また、市民への啓発についても、どのような方法が効果的であるのか引き続き検討する。

巡回中のパトロール車

市街化調整区域 今後のまちづくりは

大松　政司議員

その他の質問
○災害対策について
○きしわだ行財政再生プランについて

【問】市街化調整区域では、住宅立地規制があり、若い世帯が家を建てることが難しく、少子高齢化が顕著である。

市街化調整区域の線引き見直しについてどのように考えるか。

【答】国や大阪府と同様、市街化区域を拡大しないという方向で考えている。

線引き見直しについては、府が決定するものであるが、人口密度、地域の面積、都市基盤整備、埋め立てなど市の状況を考慮して、本市の意見として府に伝えている。

【問】このままの状況が続けば、さらに少子高齢化が進み、市民協働のまちづくりへの対応も難しいと考えるがどうか。

【答】まちづくりを進めていくにあたり、市街化調整区域内の既存集落地域においては、地区計画に基づき一定の開発をすることが出来ることも検討していきたい。

いろいろな分野において実情を把握、研究し、市民、事業者、行政が一体となって協働のまちづくりを進められるよう、市全体として適切な方策を検討していきたい。

市街化調整区域　まちづくりのあり方は

本紙は古紙配合率70%再生紙を使用しています。